

平成 24 年度 シラバス	学年・期間・区分	2 年次 ・ 通年 ・ A 群	
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン	
英語 II (English II)	担当教員	あべ松 伸二 (Abematsu, Shinji) 吉田 栄梨子 (Yoshida, Eriko)	
	教員室	あべ松: 図書館 2 階 (TEL: 42-9059) 吉田: 学生共通棟 1 階 非常勤講師控室 (TEL: 42-2167)	
	E-Mail	あべ松: abematu@kagoshima-ct.ac.jp 吉田:	
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 履修単位 / 2 単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (100 分)] × 30 回		
[本科目の目標] 文を読む・書く・聞く・話すための力を伸ばす。辞書を活用して自力で英文読解や英作文ができることを目指す。 英語を使った学習活動を通して社会や自分のことに目を向け、考える力をつける。			
[本科目の位置付け] 英語 I で習得しているべき基礎英語力が必要である。本科目を履修し、英語 III につなげる。 授業項目、達成目標、学習内容について英文法 II と連携をとりながら進めていく。			
[学習上の留意] 英和辞典を持参すること。予習・復習を十分に行い、語彙力・構文理解力の強化と内容理解に努めること。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 現在分詞、過去分詞による後置修飾	3	<input type="checkbox"/> 分詞の後置修飾、文型 SVOO における埋め込み節 (that ~ / what ~ / whether ~ または if ~) そして不定詞句 (what to ~)、接触節、関係副詞について理解し、適切に使うことができる。	Lesson 6(pp.70-81)と Lesson 7(pp.82-91)の内容について、単語や語句を調べ、本文の内容を理解しておくこと。
2. 文型 SVOO における that 節、疑問詞 + to do wh- 節、if 節	4		
3. 接触節 / 関係副詞	4		
4. 読む・書く・聞く・話すこと	2	<input type="checkbox"/> 話し手・書き手の意図を理解して、音声又は文字で適切な応答をしたり、自分が伝えたいことを表現できる。	
— 前期中間試験 —		授業項目 1~4 について達成度を確認する。	
試験答案の返却・解説	2	試験において間違った部分を正しく理解することができる。	
5. 文型 SVOC における C = 形容詞 / 動詞の原形 / -ing	3	<input type="checkbox"/> 第 5 文型中の補語の様々な形、It ~ that 節について理解し、適切に使うことができる。	Lesson 8(pp.94-105)と Reading(pp.106-112)の内容について、単語や語句を調べ、本文の内容を理解しておくこと。
6. 文型 It ~ that 節	4		
7. Reading について	4		
8. 読む・書く・聞く・話すこと	2	<input type="checkbox"/> 話し手・書き手の意図を理解して、音声又は文字で適切な応答をしたり、自分が伝えたいことを表現できる。	
— 前期期末試験 —		授業項目 5~8 について達成度を確認する。	
試験答案の返却・解説	2	試験において間違った部分を正しく理解することができる。	
9. EXCEED II 第 1~第 5 文型	3	<input type="checkbox"/> 5 つの基本文型、文型 SVO(O = that 節)、SVC(C = that 節 / wh- 節)について理解し、適切に使用することができる。	EXCEED II Lesson 1 (pp.4-13)と Lesson 2(pp.14-23)の内容について、単語や語句を調べ、本文の内容を理解しておくこと。
10. 文型 SVO O = that 節	4		
11. 文型 SVC C = that 節 / wh-	4		
12. 読む・書く・聞く・話すこと	2	<input type="checkbox"/> 話し手・書き手の意図を理解して、音声又は文字で適切な応答をしたり、自分が伝えたいことを表現できる。	
— 後期中間試験 —		授業項目 9~12 について達成度を確認する。	
試験答案の返却・解説	2	試験において間違った部分を正しく理解することができる。	
>>> 次頁へつづく >>>			

